

平成 30 年度の教育活動等に対する学校評価書

平成 31 年 3 月 13 日

学校法人富士学園 静岡県富士見中学校・高等学校

1. 本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）
 - ・ 29 年度が最終年度の「第 3 期 5 カ年計画」の「学習活動と部活動の充実」、「生徒の主体性の育成」、「学校の独自性の追求」を継承し、それに基づいて策定した諸目標の達成を図る。
 - ・ 学内の各種委員会の連携を強化し、教育計画の効率的な実施と改善に努める。
2. 自己評価とそれに対する学校関係者評価
 - ・ 評価点は、A（十分に成果があった）、B（成果があった）、C（少し成果があった）、D（成果がなかった）で記載。
 - ・ 評価委員は 7 人で、個別に評価点を記載。

評価対象	評価項目	具体的取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	意見
学習指導	・入学した生徒が学力を向上させ、希望の進路を実現できる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・特進コースⅠ類:毎日の HAP 授業 ・進学コース:火・木曜日の WS 実施（主に木） ・特進コースⅡ類ゼミ及び進学コースゼミの実施 ・模擬試験(年 2 回)の受験 ・朝学習（毎日、希望者） ・夏・冬休み補習、不振者指導 ・中学・高校の教科シラバス作成 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の 3 要素を意識した教育活動の展開 ・ウィークリー・スタディーの内容の精選 ・特進コースⅡ類ゼミを毎週月曜日に実施、並びに、年 2 回の模擬試験で勉強と部活を両立させ大学進学を目指す。 ・学習習慣分析、学習定着度会議により、学習定着度を確認 	A (6 人) B (1 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方は各教科で大変熱心に行っているようだが、生徒の家庭学習の時間が余りに少ない。その指導に工夫が望まれる。 ・進路先レベルが上がっている。 ・希望に向かって努力している様子が年度を増すごとに上向いている。 ・「中学時代の学力延長にはさせない」という教職員の熱意が、生徒の成績を上げ保護者の満足度が高くなっている。 ・きめ細かな学習指導がされていて、生徒や保護者から学校への期待が感じられました。 ・読書量の多い子は、伸び代も大きく、読解力も増す。英語の乱読や読書を競わせたらかどうか。 ・パレートの法則にあるように、100 匹の働きアリがいれば、どうしても働かないアリはいるのであり、悪い方を上げるよりも、良い方をしっかり確保して上げるようにした方が良い。
生徒指導	・生徒一人ひとりが、問題や課題、将来の目標を見据え、自ら考え、工夫し、行動し、達成感を得ることができる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接(4 月からは面接月間) ・月 1 回の頭髪、服装指導 ・携帯電話マナー講座 ・部活動・委員会と連携したあいさつ運動 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・個に寄り添う生徒指導の充実を図り、生徒の健全な成長を促す自己指導能力の育成 ・部活動活性化による全国大会出場部活の増加 ・中学校に部活動を導入 	A (5 人) B (2 人)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分の将来の夢、目標を持ち、今の時間の過ごし方のままでよいのかを真剣に考え行動する姿勢を持たせたい。 ・先生方の努力している様子が町のうわさで聞こえてくる。 ・先生の声掛けは多感な年頃の生徒を励まして力を与え、どんな名言よりも心に残り、生徒をささえてくれると思う。先生はあきらめないで。 ・挨拶がしっかりできる生徒が多く、習慣になっていると思います。生徒の面倒見がよい、部活動が盛んなど評判も高く、富士見の特徴だと思います。

進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入学した生徒が学力を向上させ、希望の進路を実現できる学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路の手引き配布（全生徒） ・大学企業見学（2年生） ・大学見学(1年生) ・進路ガイダンス（1・3年生） ・7・12月に進路面接（1・2年生） ・7・8月に進路面接（3年生） 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験で合格できる取り組みと、きめ細やかな個別の進路指導 ・国公立大学合格 21名（平成 31 年 3 月 22 日現在。3 月 13 日現在では 19 名） 	A (7人)	<ul style="list-style-type: none"> ・無理のない確実にやる宿題を課し、達成感、充実感を味わせてやりたい。 ・力のある生徒への個人指導は、今の富士見では大切なこと。 ・個別指導が行き届いていると、先生方の説明で伝わってくる。 ・経験豊富な先生方が熱意をもって取り組んでいるので、生徒や保護者は安心して相談出来ていると思う。 ・富士見通信に生徒の「富士見を選んでよかった」「勉強できる環境があります」など、うれしい声を聞きます。先生方の親身な指導のおかげだと思いました。
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席、遅刻が少ない学校 ・安全指導や防災計画が整備されている学校 ・危機管理マニュアルが作成・活用されている学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室（4月）・通学路指導（4月・5月・2月） ・防災訓練（5月・9月） ・防災講座（11月）・救急法講習 ・薬学講座（6月） ・思春期講座（12月） ・校内献血（7月） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、登校時の通学路指導 ・日常生活の中で声掛けと登校指導の徹底 ・外部団体との連携強化 ・ベテラン職員配置による生徒相談体制の整備 	A (3人) B (4人)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のアンケートでいじめにあっている生徒が複数いるのが気になる。早急な対処が望まれる。 ・個人の資質が非常に差があることが一因だと思う。よく努力されている。 ・危機管理の指導は大切。様々な手口で狙って来る詐欺等は相手のペースに巻き込まれないようにしたい。 ・不安や悩みを気軽に相談できる雰囲気作りがされていると感じます。
組織運営	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校を併設する学校 ・入学者数の安定的な確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校説明会・体験入学(全4回) ・中学校個別相談会（全4回） ・高校説明会・体験入学（全5回） ・高校夜間相談会（全5回） 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の内容検討による応募者の増加を図る。 ・個別相談の充実 ・受検者数の増加 	A (3人) B (4人)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学入学者の増加が第一課題。その為には中学から入学した生徒を含めた全体の進路の成果を数字で示される必要がある。 ・中学は高校入学者の確保のための有効な条件だと思う。小学校への呼びかけを増やすこと。 ・中高の6年間で生徒の学習能力や個性を十分知った上で、理解出来るまで指導する。生徒は幸せだと思う。 ・富士見中学ならではの授業や F 活動が行われているので、説明会・オープンスクールの折に富士見中学をPRしてもっと知ってほしいと思いました。 ・富士見中学に魅力を感じないという意見もある。また、中学があることも余り知られていない。まだ広報が足りていない。

保護者、地域住民等との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域住民への情報発信に努め、本校の教育活動への理解を深める。 公開授業、学校行事に多くの保護者や地域の人たちが参加や参観をする機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だより（年4回発行） 富士見高通信（年5回発行） 富士見中通信 富士見祭6月（保護者・地域） 公開授業（11月）・HPに掲載 HPの更新回数の増加による充実 防災教育推進のための連絡会議（10月） 	B	<ul style="list-style-type: none"> 中学生による見学会の実施 中学生1日体験入学に地域保護者などの参観を促す。 学校だより、富士見高通信、富士見中通信、ホームページ等で情報を発信 	A (1人) B (5人) C (1人)	<ul style="list-style-type: none"> 特に公開授業の実態を参観者はどう見ているかをアンケートなどで確認し、検討されることが望ましい。 外部のイベントに生徒が出る場合等は、宣伝をしてもらうこと。 入学式等で保護者に情報提供の手法について伝えたらどうか。 どのような連携を取っていくのか、理解を深めるために、何が有効か。その一つとしておまつりや体育祭などの地域を巻き込んだ行事はどうか。 今の学校が進学や就職の実績を上げて見事に様変わりした事を「くちコミ」で広がってくれたらと思う。 文化祭では地域の方や保護者の参加者を大勢見ました。学校の良さを知ってもらう機会と思います。これからも広報活動を続けてください。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設の充実と部活動の活性化 学校生活の環境整備 併設中学校の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板の導入(高校・中学) 放水訓練 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境整備及び部活動活性化のため施設の充実を図る。 消火栓ポンプの扱いと点検 併設中学校の施設充実 	A (7人)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動と勉強の切り替えができる強い意志を持った生活を確立させたい。 よく整っている。素晴らしい。 体育施設の充実で、生徒達の大活躍が新聞で報じられ、大変誇りに思う。 校内は清潔で整頓されているのを見ると、学校生活が安全で利用しやすい整備が行われていると思いました。
その他の意見				<ul style="list-style-type: none"> 新聞を読んでいない、家庭で取っていないのに驚く。スマホの情報だけでは不安です。読書の習慣をつけることが大切だと思う。 新聞の見出しの力はとても大きいので、学校新聞や通信にはとても参考になると思うが、最後まで読まないで伝わらない内容。力不足で、もっと一般紙を参考にしてください。 アンケート集計は概ね良い結果が出ていて安心しました。明るく挨拶がしっかりできる生徒が多く、充実した楽しい学校生活を送っているように感じました。 P T A活動に協力をお願いします。 中学部の充実が高校の充実となるので、中学部入学者の増が第一優先に思います。 公立でも小中一貫校ができ始めているが、富士見中学校のこともあり、注視して欲しい。 		

今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

- 本年度の重点目標である「学習活動と部活動の充実」「生徒の主体性の育成」[学校の独自性の追求]について、学校全体が中長期的な視点を持ちながら年間の学校教育活動に取り組んだ。各部・学年がこの重点目標に沿った具体的目標を掲げ、日々の教育活動に取り組んだ結果、教育目標を概ね達成することができた。
- 特進コースを中心とした国公立大学を中心とした進学実績はもちろん、進学コースからも国公立大学合格者を輩出し、また就職希望者は100%の内定率となるなど、高い成果が出始めている。また、部活動においては、バレーボール部、バドミントン部、バトントワリング部が全国大会に出場し、部活動活性化の一翼を担っている。
- 学校生活は総じて落ち着いていると言えるが、生徒が多様化する中で生徒の健全な成長を促す指導を粘り強く行っていかなければならない。
- 特に、地区の生徒減の中、入学者数の安定的な確保は喫緊の課題である。
- 学習指導要領の改訂も見通し、より魅力的でより成果の上がる教育活動が展開できるよう学校全体で取り組んでいく必要がある。